

B 秋田の幕末(定員120名)

会場：秋田県生涯学習センター

趣旨：秋田の幕末について、天保以降の飢饉や藩政の改革を通してその実態を踏まえ、蝦夷出兵や京都警衛を経て、戊辰戦争へ至る道筋をたどる講座です。

日	時	テーマ	講師
B 1	9/13 (土)	菅江真澄の見た飢饉 ～秋田と津軽と～	秋田県立博物館 学芸主事 松山 修 氏
B 2	9/20 (土)	天保期秋田藩政の諸相	元秋田県立男鹿海洋高等学校校長 渡部 紘一 氏
B 3	9/27 (土)	天保の飢饉と備荒対策	宮城学院女子大学学芸学部 教授 菊池 勇夫 氏
B 4	10/11 (土)	幕末の林政改革 ～秋田杉の枯渇と再生～	国立秋田工業高等専門学校 教授 脇野 博 氏
B 5	10/18 (土)	秋田藩の蝦夷地出兵 ～幕藩制国家と蝦夷地～	歴史科学協議会会員 金森 正也 氏
B 6	10/25 (土)	京都警衛と禁門の変	秋田近代史研究会会員 菊池 保男 氏
B 7	11/15 (土)	幕末秋田藩の奥向	東北学院大学文学部 教授 菊池 慶子 氏
B 8	11/22 (土)	奥羽越列藩同盟と戊辰戦争	秋田県立博物館 学芸主事 畑中 康博 氏

飢饉や奥向あるいは蝦夷出兵や林政改革などの動きをもとに、天保期から幕末までの秋田の歴史をたどる講座です。ここでは、第3回・第4回・第8回の講座の様子について報告します。



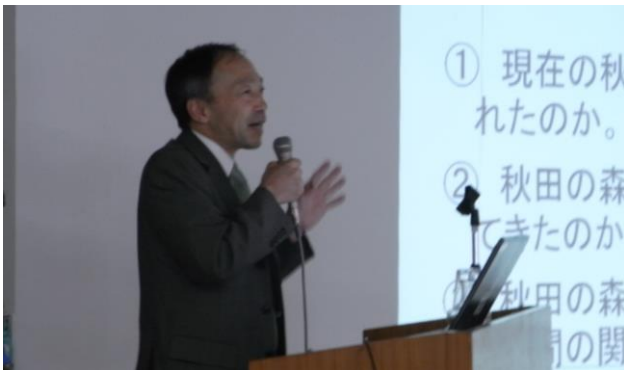
B 3 講座「天保の飢饉と備荒対策」

宮城学院女子大学学芸学部 教授 菊池 勇夫 氏

宮城学院女子大学学芸学部の菊池勇夫氏は、飢饉への具体的な対策について講義されました。受講者からは「天保の飢饉で、秋田の県北地方が特に悲惨な状況であったことが理解できた」「歴史的事実から“備えあれば憂いなし”という教訓を再認識できた」などの声が聞かれました。

岩手大学教育推進機構の脇野博氏は、秋田藩の主要産業であった林業について講義されました。秋田杉の枯渇問題とその対応策を考察するなかで、藩の政策が実際には現在の美林形成に役立っておらず、保護政策が失敗したのではないかという研究成果を披露してくださいました。

最終回となった「奥羽越列藩同盟と戊辰戦争」では、秋田藩における戊辰戦争や列藩同盟の藩代表であった戸村十太夫の評価を踏まえ、実際の秋田における戦闘の実態を検証しました。



B 4 講座「幕末の林政改革」

岩手大学教育推進機構 教授 脇野 博 氏



B 8 講座「奥羽越列藩同盟と戊辰戦争」

秋田県立博物館 畑中 康博 氏